

古志高原スキー場センターハウス増改築事業実施設計業務委託 概要書

1 事業概要

(1) 基本方針

古志高原スキー場センターハウス増改築事業の基本方針は、次のとおりである。

- ・現在の古志高原スキー場センターハウスはスキー場の来場者休憩所として主に活用しているが、「賑わいの拠点」として地域活性化に生かすため通年利用を可能とする施設に増築・改修する。
- ・敷地の立地、環境条件等を調査把握し、機能的、デザイン的に周辺環境に適した施設とする。また、夏冬通して誰もが利用しやすい施設となるように、利便性を高めるように努める。
- ・多雪地域であるため、利用上及び維持管理上、有効な積雪対策を施す。

(2) 施設概要

既存部分を含め50人規模の団体客の受け入れに対応できる客席及び、トイレ(多目的含む)の増設、浄化槽の設置、調理スペースの改修が必要である。

- (3) 建設地 長岡市山古志竹沢地内
- (4) 建設方法 既存施設の改修と増築(既存施設とは構造上別棟とする。)
- (5) 想定増築面積 200㎡程度
- (6) 構造 実施設計業者からの提案により検討する。
- (7) 今後の計画(予定)
 - ・平成29年度:実施設計
 - ・平成30年度:建設工事、電気設備工事、機械設備工事
 - ・平成31年度:設備工事、供用開始

2 現センターハウスの概要

(1) 経緯

- ・供用開始:平成元年12月

(2) 現況施設の概要

- ・建物構造:木造一部RC造3F(1F車庫・WC、2F食堂・事務所・厨房ほか、3F更衣室・休憩所・倉庫)
- ・述べ床面積:395㎡

(3) 年間営業日数 90日程度

(4) 年間来場者数

平成26年15,300人、平成27年13,140人、平成28年11,430人